



その1

活動データ 第1回

メニュー：開校式、サイクリング
日程：6月2日 土曜日
場所：公民館、中央方面、朝日公園
参加：37人(4年生～6年生)

活動データ 第2回

メニュー：川とダムと魚の関係
日程：6月16日 土曜日
場所：二股ダム、羽幌頭首工
参加：33人(4年生～6年生)

今年最初の自然教室はサイクリング。開校式を終え、さあ出発です。クイズを解いてゴールをめざせ！



いよいよスタート！

小学校高学年を対象に、公民館が実施するウイークエンド・サークル事業「羽幌町子ども自然教室」が、元気な43人のメンバーとともにスタートしました。第1回目のメニューは開校式とサイクリング。当初の開催予定は5月でしたが、悪天候により延期となり6月の開催となりました。公民館での開校式は、これからの事業予定や活動中の注意事項が伝えられ、続いて講師となる職員の紹介と参加児童たちの自己紹介が行われました。

開校式が終わると、早速サイクリングの出発です。この日参加の37人が3つのグループに分かれ、6年生は下級

生のサポートをしながらのスタートとなりました。サイクリングは公民館を出発し、旧中央小学校を折り返して朝日公園まで向かう約8kmのコースです。途中にチェックポイントを設け、クイズなどを解きながら進む「サイクルラリー」形式で実施しました。朝日公園到着後は、公園内を散策したりゲームを楽しみ、昼食は持参のお弁当を広げ、自然の中で初夏のひと時を満喫しました。

総貯水量は約5年分

第2回目の教室は、二股ダムと町民スキー場の横手にある羽幌頭首工を見

学しました。二股ダムではオロロン土地改良区の方から説明があり、このダムは水田のかんがい用水のためのもので、春に貯水し、秋に放水すると教えてくれました。ダムの高さは33・6m、ピルにすると約7階、8階の高さで、総貯水量は430万トン、羽幌町で1年に使われる水道量の5倍以上もあるそうです。でも、雨不足などが続く、この水もすぐに無くなってしまおうので、水の大切さを教えてもらいました。

羽幌頭首工では、その周辺で見られる魚達について学びました。毎年秋になると、サケが産卵のため川を上りますが、頭首工を越えられず止まってしまふことのないように、昨年魚道を設置したそうです。ここでは、留萌支庁農村振興課の方々から、この魚道で調査のために捕まえた魚達を見せてもらいました。みなさんおなじみのウグイのほか、最近ではあまり見る機会がなくなったヤツメウナギやカニモ見ることができました。おまけに川の生き物ではありませんが、へビも泳いでました。

次回の教室は、焼尻島で1泊2日のキャンプを予定しています。来月号でその様子をお伝えします。



昨年できた魚道を取り囲む子ども達。係員さんが実際に魚を捕まえるところを見せてくれました。



上：朝日公園の中で最後の設問にチャレンジする子ども達。6年生が頼りです。
中：ダムの説明に、熱心に耳を傾けます。岩ツバメも歓迎してくれました。
下：頭首工では付近の生き物を見せてもらいました。子どものヤツメウナギです。

